

令和2年度 事業報告

自 令和2年 4月 1日
至 平成3年 3月31日

社会福祉法人 名古屋市守山区社会福祉協議会

目 次

主な活動及び事業

1	法人運営	1
2	広報・啓発活動	2
3	「第4次守山区地域福祉活動計画」の推進	3
4	地域福祉活動	4
5	ボランティア給食サービス事業	9
6	ボランティア活動	12
7	在宅福祉関係事業	14
8	生活福祉資金貸付事業	19
9	心配ごと相談事業	20
10	在宅サービスセンターの運営	20
11	児童館・福祉会館の管理運営	21
12	共同募金運動への協力	23

1 法人運営

理事会、評議員会等

1 理事会

開催回	開催月日 出席状況	会場	主な議事内容
5	【書面によるみなし決議】 令和2年7月6日（月）	—	<ul style="list-style-type: none">令和元年度事業報告令和元年度決算諸規程の一部改正評議員候補者の推薦の提案役員候補者の推薦の提案令和2年度評議員会みなし決議（第2回）の開催
6	【書面によるみなし決議】 令和2年11月20日（金）	—	<ul style="list-style-type: none">令和2年度第1回評議員会の招集
7	【書面によるみなし決議】 令和3年3月26日（金）	—	<ul style="list-style-type: none">令和2年度資金収支補正予算定款の一部改正諸規程の一部改正令和3年度事業計画令和3年度資金収支予算市高齢者はつらつ長寿推進事業の契約の締結役員賠償責任保険契約への加入令和2年度評議員会みなし決議（第3回）開催

2 評議員会

開催回	開催月日 出席状況	会場	主な議事内容
2	【書面によるみなし決議】 令和2年7月22日（水）	—	<ul style="list-style-type: none">令和元年度事業報告令和元年度決算理事の選任
3	【書面によるみなし決議】 令和3年3月26日（金）	—	<ul style="list-style-type: none">令和2年度資金収支補正予算定款の一部改正評議員選任規程の一部改正令和3年度事業計画令和3年度資金収支予算

3 評議員選任・解任委員会

開催回	開催月日 出席状況	会場	主な議事内容
7	令和2年7月9日（木） ・委員3名	在宅サービスセンター 相談室（大）	<ul style="list-style-type: none">新評議員7名の選任

4 監事監査

事項	開催月日 出席状況	会場	主な議事内容
監事 監査	令和2年6月25日(木) ・監事2名	在宅サービスセンター 相談室(大)	<ul style="list-style-type: none"> 事業報告等の監査 (理事の職務の遂行に関する監査) 計算関係書類及び財産目録の監査

2 広報・啓発活動

1 福祉情報紙「社協だより」の発行

区内の福祉情報や本会の活動内容等を掲載した
広報紙を区内全域に配布しました。

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、夏号
の発行を見送り、春号を2月に発行しました。

【発行実績】

vol. 89 (令和3年2月) 70,000部



広報紙「社協だより」

2 「ホームページ」の運営

本会の取り組みや、最新の福祉情報を
本会ホームページへ掲載し、区民の皆様
等へ情報を発信いたしました。

【アクセス件数】

74,183件(月平均203件)

*小数点以下四捨五入



守山区社会福祉協議会ホームページ

3 「福祉情報設置店」の設置・推進

喫茶店や郵便局などの身近な場所で、
区民の皆様役に役立つ福祉情報が入手でき
る福祉情報設置店の設置を推進しました。

「設置店サポーター」と呼ばれるボラン
ティアが、定期的に設置店へ情報誌等
をお届けしました。

【設置店】 61ヶ所

【設置店サポーター】 20名



福祉情報の設置

3 第4次守山区地域福祉活動計画」の推進

誰もが安心して暮らせる“福祉のまち守山”を目指し、地域住民やボランティア、福祉関係機関・団体、福祉サービス事業者や行政などの多様な機関が連携・協働して、地域生活課題を抱えた人々や世帯を支援する取り組み等を計画的に行っており、令和2年度は計画2年目の年となりました。(計画期間：令和元年度～令和5年度)

令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、開催予定の事業をやむなく延期し、計画全体の推進・進捗状況確認・評価を行う「推進委員会」の開催も見送りました。一部のプロジェクトチームでは、コロナ禍でも活動できる取り組みを検討しました。

1 会議等開催状況

(1) 推進委員会

新型コロナウイルスの感染拡大のため、開催延期

(2) プロジェクトチーム (※)

※計画事業について、実施に向けた具体策の検討や事業を実施するグループ

	プロジェクト会議開催日			
	7/28	9/23	11/24	3/23
しごとづくりPT(12名)	7/28	9/23	11/24	3/23
子どもの活躍場PT(9名)	11/6	1/6		3/24
健康づくりPT(8名)	新型コロナウイルス緊急事態宣言発令等により開催延期			
つながりづくりPT(15名)				

<しごとづくりプロジェクトチーム>

年齢や障がいの有無などに関係なく、誰もが特技や技能などを発揮し、活躍できる場を創設し、社会参加や生きがいづくりを目指す

① 地域の人が集える居場所づくり

*「②緑地資源を活用した多世代交流活動」と連携した居場所づくりを検討

② 緑地資源を活用した多世代交流

*多世代協働による「ライ麦ストロー&ヒンメリづくり」及び「リースづくり」を検討
区内を中心に6か所でライ麦の種をまき、5～6月頃の収穫に向けて育成



しごとづくりプロジェクト会議

<子どもの活躍場づくりプロジェクトチーム>

子どもたちが主役となり企画・実施するさまざまな体験をとおり、社会性・自主性を養いながら、心身の成長を目指す

① 子どもから発信する地域福祉活動

*18歳以下を対象とした「もりやま区 手づくりえほん作品」募集を検討

② 子どもが担う地域活動

*「学区防災訓練等で子どもが主体的に活動する場」や学習支援の「子ども寺子屋」を検討



子どもの活躍場づくりプロジェクト会議

4 地域福祉活動

1 学区地域福祉推進協議会（推進協）への支援

各小学校単位に設置された地域福祉活動の推進組織である「学区地域福祉推進協議会（推進協）」の活動について、本会の学区担当職員等が、学区の特色や実状を踏まえたきめ細やかな支援を行いました。

また、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、従来実施してきた対面式の地域福祉活動が中止等を余儀なくされる状況が続いたため、コロナ禍においても活動可能な地域福祉活動の事例紹介や、学区の意見交換を行いました。

＜推進協活動 事業説明・意見交換会＞

【開催】 令和2年8月21日（金）
午後2時～午後3時30分

【参加者】 20学区20名

【内容】 コロナ禍での「推進協おすゝめ活動」他



推進協活動
事業説明・意見交換会

2 名古屋市地域支えあい事業の推進（名古屋市受託事業）

守山区では5学区の推進協が、高齢者や障がい者、子育て世代等住民のちょっとした困りごとの相談を受け付け、ご近所同士の助けあいによって困りごとの解決を図るなど、地域のつながりづくりを進めました。

また、学区単位で行う「活動連絡会議」などを通じて、住民や専門職などが地域の福祉課題やその解決に向けて話し合いが行われました。

学区担当職員が実施学区へ訪問し、本事業の活動を支援しました。

実施学区	登録ボランティア数	活動延人数	ボランティアポイント数	生活支援の主な内容
本地丘	57名	979名	3,733P	買い物等
吉根	58名	145名	999P	買い物、話し相手、庭の草取り等
白沢	52名	2,168名	3,770P	小修繕、掃除、話し相手、庭木の剪定・草取り等
大森北	56名	413名	1,423P	小修繕、ごみ出し、庭木の剪定・草取り等
小幡北	67名	484名	1,377P	小修繕、ごみ出し、庭木の剪定・草取り等

※ボランティアポイント…学区で認定された支えあいボランティア活動によって付与、ポイントは現金に換算され（1P=10円）、推進協等へ還元されます。



小幡北学区「地域支えあい活動」
枝切りの様子



白沢学区「地域支えあい活動連絡会議」

<守山区地域支えあい事業研修交流会>

- 【開催】 令和3年3月26日（金）午後1時30分～午後3時30分
- 【参加者】 事業実施5学区のご近所ボランティアコーディネーター等14名
- 【内容】 第1部 講和「北区東志賀学区 ともに暮らす地域の実現を目指して」
～住民が行う地域支えあい活動の意義とコロナ禍の活動について～
- 第2部 実施学区情報交換会



北区東志賀学区のボランティア
コーディネーターの皆さんからのお話



グループディスカッション発表の様子

3 「ふれあい・いきいきサロン」の推進及び、生活支援の仕組みづくり検討

地域の住民同士のつながりや仲間づくり、地域の生活課題への気づきや身近な相談拠点ともなり得るサロン（たまり場）づくりの支援を、財政面も含め行いました。

新型コロナウイルスの影響により、サロンを中止するところも多くあり、開催してよいものかという相談を多くいただきました。

現状把握のためにサロン運営者あてに「新型コロナウイルスに関するサロンアンケート」を実施し、「コロナに負けるな！サロンお互い応援メッセージ」を集約しました。

また、新型コロナウイルス関連の情報も適宜送付し、情報提供に努めました。



傾聴ボランティア対象
「Zoom 体験講座」



「サロンお互い応援メッセージ」

また、コロナ禍におけるボランティアの活動の幅が広がるきっかけになることを期待し、傾聴ボランティア向けに「Zoom 体験講座」（講師：ソフトバンク株式会社）を開催しました。

(1) 新設サロン

名称	実施学区
サロン山の手	大森北



サロン山の手

(2) 本会運営のサロン

愛知県健康づくりリーダーと連携し、本会及びコープ小幡店の2会場で、「わいわいサロン」を実施する計画でしたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、コープ会場での開催は中止に、本会会場は7月に1回開催しました。

実施会場	実施回数	参加者数
本会研修室	1回	8名

(3) 生活支援専門部会の開催

将来の地域相談機能の拠点となり得る、地域交流の場としてのサロンの拡充・基盤づくりや、生活支援活動を行うボランティア支援等について、関係機関や地域住民、行政等と検討する部会を3月に開催しました。

また、令和元年度に名古屋市が発行し全戸配布された「地域包括ケアシステムガイドブック」に掲載されている高齢者を支える仕組み「地域包括ケアシステム」について、より身近に感じ、広く区民に知ってもらうため、守山区内の各種団体役員をはじめ、区民の皆様にご出演いただき、「誰もが安心して暮らせる“福祉のまち守山”」のより一層の推進と、支援ボランティアの輪の拡充等を目指した映像版(DVD)を制作しました。

開催日	〈検討・実践・報告〉内容	参加者数
3月12日	・地域包括ケアガイドブック THE MOVIE について ・次年度事業計画について 他	17名



地域包括ケアシステムガイドブック THE MOVIE チラシ

4 「高齢者はつつ長寿推進事業」の実施（名古屋市受託事業）

市内にお住まいの65歳以上の高齢者を対象に、健康増進活動やレク、脳トレ、創作などを行い、仲間づくり・介護・認知症予防やフレイル対策への理解を促し、社会参加促進を目的としてサポーターさんのご協力のもと週4日、区内8会場で実施をしています。

令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大のため、参加者の安全と健康を最優先に考慮し、下記の期間事業を中止しました。

再開時は名古屋市からの感染対策の取り扱いに従い、消毒・換気・三密を避ける対策の他、実施時間の短縮、狭小会場は二部制にして参加人数を半分に実施しました。



事務局長賞
絵手紙「健康」

【実施状況】 ※…コロナ対策の為、二部制にして実施した会場

学区	会場	事業開始日	実施曜日	参加登録者数		年間延べ参加者数
				上半期	下半期	
白 沢	川嶋神社会館	平成18年 10月2日	月	25名	25名	312名
廿軒家	廿軒家会館 ※			25名	25名	327名
森孝西	森孝西コミセン ※	平成18年 10月4日	水	25名	25名	423名
小幡北	小幡北コミセン			21名	18名	278名
志段味東	志段味東コミセン ※	平成18年 10月5日	木	25名	21名	324名
苗 代	本会研修室 ※			25名	25名	260名
瀬 古	平成会館	平成18年 10月6日	金	25名	17名	264名
大森北	大森北コミセン ※			23名	21名	293名
合 計				194名	177名	2,481名

【新型コロナウイルス感染拡大に伴う中止期間】

中止期間	中止期間の主な取り組み
令和2年4月1日～6月30日 令和2年8月17日～10月31日 令和3年1月18日～3月3日	<ul style="list-style-type: none"> 電話による相談や安否確認 脳トレプリントや毎日健康カレンダー郵送 引きこもりや運動不足解消につながるウォーキング場所の紹介と開催 自宅で出来る創作（作り方や材料を郵送） 守山はつついこみやあ新聞 他



平成会館でのレクリエーションの様子



手作りマスクにはつつPRチラシを入れ、白沢・緑ヶ丘・大森瀬古郵便局、大森保育園、志段味ミュージアム内飲食店へ配布

5 「守山区人権尊重のまちづくり事業」の実施（守山区受託事業）

区民一人ひとりの人権が尊重され、差別や偏見のない「人間性豊かなまち・守山」の実現を目指した本事業を守山区から受託実施しました。

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、講演会方式ではなく、人権問題について落語の講演を収録したDVDを作成し、区内の各団体に配付し、動画配信を行いました。

【配信日】 人権週間（12月4日～10日）にあわせて
12月より配信

【テーマ】 笑って学ぶ、新しい生活様式における人権

【講師】 豊橋落語天狗連
微笑亭 さん太（ほほえみてい さんた）氏



「笑って学ぶ 新しい生活様式における人権」DVD

6 各種事業の後援（共催）

社会福祉に関する団体等が実施する、広く区民の社会福祉の増進や啓発に資する事業に対し、後援を行いました。

事業名	実施日	主催	テーマ
東海つばめ学習会 トレジャーシップ教室	10月10日～ 第2・4土曜日	(共催) ・東海つばめ学習会 ・NPO法人トレジャーシップ	小5～中3 学習支援

7 各種福祉関係団体への支援・助成等

共同募金配分金を財源として、各団体が実施する事業に助成しました。

令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、事業の中止や、例年とは異なる実施方法、代替事業を実施する団体が多くありました。

(1) 高齢者関係事業

① 老人クラブ事業

事項	実施日・期間	会場	備考
さわやか健康づくり講習会	新型コロナウイルス感染拡大の影響により 中止		
趣味の作品展			
料理講習会			
友愛活動研修会代替事業 「老人クラブ友愛活動 特殊詐欺防止大作戦!!」	3月	区内	対象2,100名

② 敬老行事事業

事項	実施月	会場	備考
敬老祝品贈呈事業	新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止		

(2) 児童関係事業

① 子ども会事業

事 項	実施日・月	会 場	備 考
キャンプ講習会	新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止		
オリエンテーリング大会			
ソフトボール大会			
子ども会ノート作成	3月29日	守山区役所	300冊作成

② 保育園事業

事 項	実施日・期間	会 場	備 考
保育園児プラネタリウム見学	新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止		
保育まつり			
保育園卒園児激励	3月12日～ 31日	区内42園	卒園式祝電

③ 留守家庭児童健全育成事業

事 項	実施期間	会 場	備 考
学童保育所への 図書カード等贈呈	3月	—	17団体

(3) 障がい児(者)関係事業

事 項	実施日	会場等	備 考
登山大会	新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止		
バスハイク			
親子交流会			
クリスマス会			
卒業生を祝う会	2月8日～12日	養護学校始め 区内小・中学校	参加者400名

5 ボランティア給食サービス事業

* 昭和51年度から開始

1 配食サービスによる見守り活動 等

民生委員や給食ボランティア等と連携し、ひとり暮らし高齢者等へ昼食用弁当を配食しました。

新型コロナウイルスの影響による緊急事態宣言発令中は、活動を一時休止したものの、手渡しによる配食により、安否確認を始め、生活上の困りごと等の把握・解決に努めました。

また、例年12月に配達している手づくりおせち弁当の代わりに、「年末特別弁当」と題した業者弁当を配達しました。



配食による声掛けと見守り活動

(1) 「昼食用弁当」等実績

① 配食方式

ア 本会主催

項目	員数	備考
利用者数	162名	<配食日> 志段味地区 週1回(水) 上記以外 週2回(火・木) ※小幡、守山、西城、志段味西 下志段味、瀬古学区を除く。 <業者> 日本ケータリング(株)
年間配食数	8,124食	

※「利用者数」は、年間の最高利用者数。

イ 学区福祉推進協議会主催 ※月1回以上実施学区。(順不同)

学区	年間配食数	備考
白沢	325食	月2回(尾張荘弁当)
志段味東	—	月1回(手作り弁当) ※コロナのため中止

② 会食方式 ※学区地域福祉推進協議会主催で月1回以上実施学区。(順不同)

学区	年間提供数	備考
瀬古	124食	月2回
大森北	—	月1回 ※コロナのため中止

(2) 新型コロナウイルス緊急事態宣言発令に伴う配食休止期間

第1回：令和2年4月21日(火)～6月8日(月) 計17回休止

第2回：令和3年1月19日(火)～2月8日(月) 計9回休止

※第2回休止期間については、緊急事態宣言の解除は延期されたものの、愛知県内の新規感染者数が減少してきたこと、ボランティアから再開希望の声が上がったこと等を鑑み、緊急事態宣言解除前に活動を再開。

(3) 「年末特別弁当」配食実績

実施日 12月23日(水) / 24日(木)

※年内最後の配食日に実施

配食数 149食

(内訳) 火・木 実施学区140食

水 実施学区 9食



年末特別弁当

(4) ボランティア数(令和3年3月末現在)

366名(男性：49名、女性：317名)

(5) その他

- ① かわら版の発行（配食予定表） 年 10回
- ② ボランティアだよりの発行 年 3回
- ③ エコキャップ運動 年 10回

※ペットボトルのキャップを回収し、その売却益を世界の途上国の子どもたちへのワクチンとして届ける運動。本会では、ボランティアの協力のもと、集まったキャップを仕分けし、受入業者へ納品しています。



エコキャップの運搬

④特殊詐欺防止PR活動

配食利用者を対象に、守山警察署協力の下、金城学院大学学生発案の特殊詐欺防止のPR活動を行いました。

苗代学区では学生と警察官が配食利用者のお宅を訪問し、PRチラシと金城学院大学附属幼稚園の園児たちが色を塗った、特殊詐欺防止PRぬり絵を配布し、詐欺防止を呼びかけました。



特殊詐欺防止PRチラシ等を配布

2 企画委員会等の開催

事業の円滑な運営と活動の質を向上させるために、給食ボランティア企画委員会、運転・添乗・仕分けボランティア打合会は二部制にして開催しました。

ボランティアのさらなる技術向上を目指して実施する予定であった研修会・調理実習は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、開催を中止しました。



二部制開催の給食連絡員会

■開催状況

事項	開催日	場所	参加者数等
企画委員会	毎月第1木曜日	アクロス小幡 共用会議室	企画委員 6名
運転・添乗・仕分け ボランティア等打合会	4月書面開催 10月21日	本会 ボランティアルーム	運転等ボラ 23名
連絡員等打合会	4月書面開催	本会 研修室等	連絡員 36名
	7月15日		
	10月21日		
2月書面開催			
年末特別弁当配食 (手作りおせち弁当代替)	12月23日 12月24日	給食実施学区	総配食数 149食
調理実習	—	新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止	
給食ボランティア研修会	—		

6 ボランティア活動

1 ボランティアセンターの運営

ボランティアセンターの運営を通し、ボランティア活動に関する相談、情報提供及び地域住民や福祉施設などからのボランティア派遣の依頼に対して、需給調整を行いました。

(1) ボランティア活動の需給調整

需給調整件数 165件

〈内訳〉

相談（依頼）者	
個人（本人）	136件
専門職	5件
福祉施設等	20件
地域住民・団体	4件
その他	0件

内 容	
地域（在宅）生活支援	141件
見守り・話し相手・孤立防 止	5件
移 動 ・ 外 出	3件
社 会 参 加 ・ 交 流	0件
趣 味 ・ 教 養	3件
施 設 ボ ラ 運 営 系	2件
施 設 ボ ラ 披 露 系	10件
そ の 他	1件

(2) 登録ボランティア数

グループ・団体数	90団体
個人登録者数	43名

2 「守山区ボランティア連絡協議会」との連携

守山区におけるボランティア団体の連絡組織である「守山区ボランティア連絡協議会」（18団体で構成）と連携し、ボランティア同士の交流を通じたスキルアップや新たな仲間づくりからの担い手増等を目的とした、「ボランティア養成講座」や「ボランティアのつどい」は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、一部開催や、開催中止となりました。

(1) ボランティア養成講座

事 項	実施日・期間	場 所	受講者
やってみよう！手話 (全12回のところ 10回開催※)	10月13日～ 1月26日	本会 研修室	11名

※新型コロナウイルス緊急事態宣言発令により途中打ち切り



やってみよう！手話

(2) ボランティアのつどい

開催予定日	備 考
12月7日	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(3) ボランティア保険の取扱い

種別	延べ加入件数	延べ加入人数
ボランティア活動保険	182件 (内大規模災害14件)	1,818名
ボランティア行事用保険	359件	9,579名

3 障がい者団体や小・中学校と連携した福祉教育の推進

ボランティアや障がい者団体等との協力のもと、区内小・中学校における車いすやアイマスク、手話、高齢者疑似体験等の体験学習に協力しました。

名古屋市社会福祉協議会ボランティアセンターの指導に基づき、感染症対策チェックシート等を活用し、感染予防に細心の注意を払い実施しました。

<区内小学校・中学校> *9件8校(小学校6校、中学校1校、養護学校1校)内、3件中止

実施日	学校名	対象	人数	内容	協力
7月1日	大森小	6年生	54名	お話し会 (聴覚・視覚障害)	当事者講師3名 手話通訳2名
9月25日	天子田小①	5年生	51名	手話体験 お話し会(聴覚障害)	当事者講師2名 手話通訳2名
9月29日	瀬古小	5年生	140名	お話し会(発達障害) 瀬古マザー園交流会 認知症サポーター 養成講座	当事者講師3名 サポート職員等5名 守山区西部いきいき 支援センター
10月23日	小幡北小	5年生	53名	車いす体験 お話し会(車いす利用 者)	AJU自立の家 当事者講師1名 職員1名
12月9日	大森北小	6年生	67名	手話体験 お話し会(聴覚障害)	当事者講師2名 手話通訳2名
12月9日	天子田小②	5年生	51名	事後学習発表会	当事者講師2名 手話通訳2名
新型コロナウイルス 感染拡大の 影響により 中止	守山養護 学校	高等部 2年生	—	高齢者疑似体験	—
	二城小	5年生	—	はつらつとの交流	—
	大森中	2年生	—	手話体験 お話し会(聴覚障害)	—



天子田小 手話体験学習



小幡北小 車いす体験学習

4 耐震留具取付サービス事業 *平成17年度から開始

ひとり暮らし高齢者のいる世帯や障がい者のいる世帯等を対象に、地震に備えた家具耐震留具の取り付けを「防災ボラネット守山」と連携し実施しました。

【実施期間】 令和2年7月～令和3年3月

【施工件数】 35件（施工累計件数798件）



耐震留具取り付け作業の様子

7 在宅福祉関係事業

1 通所介護事業（デイサービスセンター）の運営

運営にあたっては、利用者が安全で安心できる心地よいサービスを提供することに努めました。特に、利用者の身体機能の維持・向上とそれに伴う介護者の負担軽減化につながるプログラムを積極的に取り入れ実施いたしました。

新型コロナウイルス対策を行っていましたが、令和2年11月に利用者及び職員数名が感染していることが判明し、2週間営業が中止となってしまったため、消毒の徹底、デスクパーテーションの配置、デイルーム内と送迎車にオゾン発生器を設置するなど一層強化をした対策を行いました。

また、平成27年10月度から令和元年10月度までの間にかかる個別機能訓練加算及び運動機能向上加算に関する計画書が一部保管されていない事等が分かり、介護報酬の過誤請求処理等を行うことが起きたため、事業体制の見直し、改善を行い、健全な運営体制の確立を図りました。

■利用状況

	営業 日数 (日)	実利用 人員 (名)	延利用人数 (名)	内 訳		一日 平均人数 (名)
				要支援	要介護	
令和2年度	322	608	6,065	814	5,251	18.8
令和元年度	308	816	7,690	1,138	6,552	24.9
増 減	14	▲208	▲1,625	▲324	▲1,301	▲6.1



新型コロナウイルス対策のため、卓上に「パーテーション」を設置



デイルーム内と送迎車内に、「オゾン発生器」を設置

2 市社会福祉協議会「守山区介護保険事業所」事業への協力



(1) 居宅介護支援事業（令和2年3月の月間実績）

ケアプラン作成総件数	187件（予防給付ケアプラン 86件含む）
------------	-----------------------

【主な活動】

- ・高齢者いきいき相談室（いきいき支援Cランチ型相談室）相談件数 3件
 - ・「はち丸ネットワーク」（情報連携システム〔医療と介護の連携〕）への参画
 - ・他法人との共同事例検討会参加（他 キャリアパス研修等実施）など
- ※新型コロナウイルス感染拡大の影響により、変更や中止の研修等あり

(2) なごやかヘルプ（訪問介護）事業（令和2年3月の月間実績）

【提供サービス】

- ① 介護保険制度における訪問介護事業
- ② 障害者自立支援法における指定居宅介護事業
- ③ 家事介護サービス事業
- ④ 養育支援ヘルプ事業
- ⑤ 生活応援サービス事業

なごやかスタッフ 登録者数	67名
------------------	-----

お客様の人数		244名
内 訳	① 介護保険（介護給付）	89名
	① 介護保険（予防給付）	72名
	② 自立支援法	58名
	③ ④ 措置等	8名
	⑤ 生活応援サービス事業	17名

【主な活動】

- ・初任者研修 実習生受入れ
- ・市社会福祉研修センター初任者研修等講師補助
- ・なごやかスタッフ研修 年16回開催
（内容：倫理・感染症・認知症・身体介護他）
※新型コロナウイルス感染拡大の影響により、集合形式の他、書面で開催
- ・なごやかスタッフサロン交流会
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
- ・サービス提供責任者キャリアパス研修
- ・なごやかスタッフ退職者による「OG会」
ボランティア啓発事業
（内容）外出ボランティア、デイサービスの利用者へカード作り等



なごやかスタッフ退職者による「OG会」
デイサービス利用者へのカードづくり

3 市社会福祉協議会「守山区東部いきいき支援センター」事業への協力

(1) 総合相談受付実績

高齢者に関する様々な相談を受けとめ、適切な機関・制度・サービスへつなぐ等、課題解決に向けた継続的な支援を行いました。

分 類	実件数	延べ件数
虐待相談	13件	119件
権利擁護関係	4件	11件
消費者被害関係	2件	7件
健康・福祉・介護等関係	1,460件	4,666件
合 計	1,479件	4,803件

(2) 認知症の方にやさしいまちづくりに向けた事業の実施

認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを目指し、地域住民への認知症に関する普及啓発を進める他、認知症の方やその家族が社会参加できる場づくりや社会基盤の整備を行いました。

事 項	実施日等	人 数	内 容 等
認知症サポーター向け 情報誌発行	年2回	延べ 779名	サポーター活動の充実とスキルアップのための情報紙
認知症サポーター フォローアップ講座	7月28日	28名	(講師) 認知症の人と家族の会 愛知県支部 *他1回実施予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大のため中止
認知症サポーター 養成講座	年6回	延べ196 名	(対象) 一般市民、高校生、大学生、 行政 等
守山区 キャラバンメイト 連絡会	1月13日	21名 (内、キャラ バンメイト1 2名)	認知症サポーター養成講座の質向上 に向けたキャラバンメイト同士の情 報共有 *他2回実施予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大のため中止
出合いの会	年5回	延べ67名 (内、本人は 延べ36名)	認知症の当事者の交流会 *他7回実施予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大のため中止
元気まつり	—	—	*新型コロナウイルス感染拡大の ため主催者が開催中止
認知症普及啓発推進事業	—	—	
はいかい高齢者おかえり 支援事業模擬訓練	—	—	*新型コロナウイルス感染拡大の ため中止
認知症講演会	—	—	
地域交流カフェ 「気楽気楽カフェ」	—	—	



認知症サポーターフォローアップ講座



認知症サポーター養成講座

(3) 認知症の方を介護する家族への支援事業

事項	実施日	人数	内容等
家族教室	年2回	延べ3名	認知症の解説、支援制度の学習、認知症の方への関わり方の学習 *他8回実施予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大のため中止
家族サロン	年6回	延べ62名	家族介護者同士の悩み相談、情報交換の場、リフレッシュのための交流会 *他6回実施予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大のため中止
もの忘れ相談医による専門相談	年5回	延べ6名	守山区医師会より「もの忘れ相談医」を派遣 *他7回実施予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大のため中止

(4) 認知症初期集中支援チーム

チーム員会議	23回
対応件数	34件

(5) 介護支援専門員への支援とネットワークづくり

介護支援専門員が関係機関と連携できる環境を整えるとともに、介護支援専門員間のネットワークづくりや資質向上に向けた取組みを実施しました。

事項	実施回数	人数	内容等
ケアマネ勉強会	2回	延べ180名	コロナ禍におけるポジティブな声掛け、ケアプランに活かす質問力 *他5回実施予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大のため中止
事例検討会	1回	延べ40名	保健センターとの連携について *他4回実施予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大のため中止
主任ケアマネサロン	1回	50名	ファシリテーションにおけるロジカルシンキング
民生委員・ケアマネ連絡会	1回	25名	大森北学区にて実施
地域ケア会議	—	—	*2回実施予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大のため中止

(6) 介護予防の取り組み

幅広い年代層の地域住民を対象に運動習慣の動機づけを目的とした、介護予防教室「いこいこイオン」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催を中止しました。

(7) 高齢者の見守り支援

ひとり暮らしの高齢者などが孤立状態に陥らないよう、地域における見守り活動を支援することを目的として取り組みました。「いきいきコール」では、ボランティアと協力して電話訪問活動を行いました。

① 見守り支援事業相談・通報件数

相談者 通報者	本人	民生委員	サービス 事業者	区役所	その他	合計
件数	0件	0件	0件	0件	9件	9件

② 電話訪問「いきいきコール」の実施状況

コールボランティア登録人数	4名
電話訪問利用者実人数	17名
電話訪問実施延回数	1,056回

③ 名古屋市高齢者見守り支援事業の周知

介護支援専門員への支援とネットワークづくりとして当センターが実施している「大森北学区民生委員ケアマネ連絡会」にて、名古屋市高齢者見守り支援事業の説明を行いました。

学区で見守り支援を行っている対象者数や近況について共有しました。



大森北学区民生委員ケアマネ連絡会

④ 見守り支援事業者との連携協定（見守りあんしんプラス）

名古屋市中日会守山支部と東西いきいき支援センターが協定を結び、センターが把握する見守り対象者の一部の方に対して、区内の中日新聞販売店が新聞配達ルートの中で安否確認を行いました。

対象者（区内総数）	9人
-----------	----

(8) 指定介護予防支援事業

給付管理数	12,747件
-------	---------

4 車椅子 貸し出し事業

学校等での体験学習や外出等で一時的に必要とされる方に、原則7日を限度として車椅子の貸し出しを行いました。

椅子貸出し件数	73件
---------	-----

8 生活福祉資金貸付事業

愛知県社会福祉協議会と協力し、経済的な自立や在宅福祉の向上を図るための資金貸付事業を行いました。

また、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、特例での緊急小口資金及び総合支援資金貸付制度が開始され、例年のない相談及び決定件数となりました。

受付期間	相談件数	決定件数	貸付決定額	内) 新型コロナ特例貸付決定額
令和2年度	3,398件	1,682件	422,952,000円	422,106,000円
(参考) 特例貸付開始前までの累計実績 平成21年4月～令和2年3月24日	2,616件	125件	108,628,606円	

〈貸付相談・申請・決定件数〉

		貸付実績 (件)		
		相談	申請	決定
生活福祉資金	総合支援資金	4	0	0
	新型コロナ特例 総合支援資金	1,296	583	475
	福祉資金 (福祉費)	37	3	2
	福祉資金 (緊急小口資金)	64	1	0
	新型コロナ特例 緊急小口資金	1,974	1,264	1,204
	教育支援資金	17	1	1
	不動産担保型	3	0	0
	(小計)	3,395	1,852	1,682
臨時特例つなぎ資金		3	0	0
合計		3,398	1,852	1,682

9 心配ごと相談事業

* 昭和25年度から開始

法律や行政等の専門家が、日常生活での困りごとや悩みなどの相談を受ける「心配ごと相談事業」を実施し、福祉まつり会場等においての出張相談会も実施しました。

また、国で定める人権擁護相談及び、行政相談とも連携し、毎月第2・第4木曜日は3相談事業（窓口）を同時に開設しました。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、出張相談会は中止となりました。

また、緊急事態宣言期間中の開設を中止したことにより、実施日数が前年度より減少しましたが、相談件数は前年度よりやや増加しました。



「心配ごと相談員研究会」
アンガーマネジメント講座

- 【実施日時】 毎週木曜日 13時から16時
- 【実施日数】 32日（前年度比▲12日）
- 【相談件数】 31件（前年度比+6件）
- 【相談時間】 平均37分／1回
- 【相談員数】 10名（他に、人権擁護委員5名・行政相談委員2名）

10 在宅サービスセンターの運営

区内で活動する福祉団体やボランティア団体へ研修室や会議室、調理実習室等を貸し出しました。

新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言により貸し出し中止期間があり、例年より半分以下の利用となりました。

また、ボランティア連絡協議会をはじめ、各種ボランティア団体、地域住民とともに下記の事業に取り組みました。



「おもちゃ病院」修理の依頼受付

■年間利用状況

事項	研修室	ボランティア ルーム	録音室	点訳室	調理実習室	合計
延利用 団体数	274 団体	301 団体	58 団体	62 団体	151 団体	846 団体
延利用者数	2,678 名	1,706 名	92 名	100 名	576 名	5,152 名

■実施事業（本会主催の定例実施事業）

事業名	開催日	会場等
わいわいサロン（体操）	毎月第2金曜日	研修室

事業名	開催日	会場等
声の図書・録音テープ貸出し	毎月第2土曜日	ロビー
子ども点字教室	毎月第2土曜日	相談室
折り紙を楽しむ会	毎月第2土曜日	ボランティアルーム
手芸広場	毎月第4土曜日	ボランティアルーム
おもちゃ病院	毎月第4土曜日	ロビー
健康もりモリッス体操クラブ	毎月第4土曜日	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
みんなでうたいましょう	月1回	

1 1 児童館・福祉会館の管理運営



1 守山児童館の管理運営

児童厚生施設である守山児童館の指定管理者（令和2年度～令和6年度）として、本会が管理運営を行いました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年3月2日～令和2年6月1日まで事業を休止しました。ただし、留守家庭児童クラブ（学童保育）に関しては、保護者の就労に対応するため開設しました。

【主な事業】

① 子ども育成活動

日常の遊びの支援、後期クラブ活動（将棋・囲碁・オセロ・図画・工作・卓球）、わんぱく森たんけん、クリスマスイベント（なぞとき）など多数の行事を実施
（※新規：ボッチャであそぼう）

② 子育て支援活動

後期クラブ活動（親子体操・リトミック・工作）、ベビーマッサージ、運動遊び、お話会、など多数の行事を実施（※新規：フリーマタニティビクス）

③ 移動児童館の開催

志段味地区会館（5回）・守山生涯学習センター（1回）で実施

④ 子どもの自主性を育む活動

ゆめのシゴト（子ども達がやってみたい仕事を考え、「コンサート」「ゲーム屋」「プラバン屋」を開催）を実施。「コンサート」はライブ中継も行った

⑤ 中高生専用時間帯として「ナイター児童館★フレンドリータイム」の実施

（毎週金曜日・17時～20時）

⑥ 名古屋市中学生の学習支援事業の実施

（火曜日クラスおよび水曜日クラスの2クラス）

⑦ 高校生世代への学習相談支援事業の実施

対象：名古屋市中学生の学習支援事業を利用して進学した高校生

⑧ 食育活動の一環として「ハニット畑」でキュウリやオクラなどの野菜を育て収穫した

⑨ 密集・密接を避けるため映像を活用した事業展開

Xmas で3密を避けるためサンタの登場を中止し、スマートフォンで職員が編集したサンタの映像を流れる形とした (※新規：Instagramの開設)



将棋クラブ



ボッチャであそぼう



2 守山福祉会館の管理運営

老人福祉施設である守山福祉会館の指定管理者（令和2年度～令和6年度）として、本会が管理運営を行いました。

守山福祉会館では、趣味の講座、同好会の活動支援、各種相談事業、認知症予防事業（予防教室・認知症予防リーダーの養成と派遣）等を行ってまいりましたが、令和2年2月末から新型コロナウイルスの感染が拡大し、利用者である高齢者の命を最優先に考え、消毒や換気・加湿環境対策を行った上で、3密の発生しにくい一部事業のみ実施し、緊急事態宣言等に応じて閉館する等の対応を行いました。

【開館・閉館状況】＊開館・閉館の時期については、名古屋市の指示によるもの。

開館時期	閉館期間	緊急事態宣言
7月1日～8月10日	4月1日～6月30日	4月25日～5月25日
11月1日～1月14日	8月11日～10月31日	8月6日～8月24日 (県独自の宣言)
3月1日～3月31日	1月15日～2月28日	1月13日～2月28日

(1) 実施事業 ＊事業の再開は名古屋市及び名古屋市内福祉会館館長会の協議により決定

①趣味の講座 … 陶芸・リサイクル工作・俳句・書道・ゆっくり筋トレ

- ・ _____ の講座は、人数を半分に分けて、前半と後半で実施
- ・ _____ の講座は、人数・回数を半分に、AクラスとBクラスで実施
- ・ 詩吟 民謡 民踊 コーラス 男の料理教室 囲碁 音楽セラピーは中止

②認知症予防事業 … 予防教室・予防リーダー養成講座・スキルアップ事業
(予防リーダーの派遣は中止)

③相談事業

(2) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した事業

- ・自由参加部屋等の開放（囲碁将棋室・卓球室・児童館卓球）
- ・楽チャレ講座（自由参加講座を含む）
- ・入浴事業
- ・同好会への部屋貸し
- ・サロン・交流事業
- ・発表会



ゆっくり筋トレ



書道

12 共同募金運動への協力

1 赤い羽根共同募金運動（10月1日～12月31日）

【目標額】 10,640,000円

【実績額】 10,411,351円（前年度比 ▲228,769円）

2 歳末たすけあい募金運動（12月1日～31日）

【目標額】 517,000円

【実績額】 507,222円（前年度比 ▲8,075円）

3 赤い羽根協賛児童生徒作品コンクール（書道・ポスター作品募集）

例年、区内の小・中学校生から応募のあった作品の中から優秀作品を選定し、区役所講堂で展示しておりましたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、令和2年度は区の審査会にて「優秀」・「佳作」に選ばれた作品を、本会広報紙及びホームページへ掲載しました。

【応募数】 書道の部 …… 1,635点

ポスターの部 …… 245点

【学校からの推薦数】

書道の部 …… 100点

ポスターの部 …… 81点

【優秀・佳作点数】

書道の部 …… 優秀：10点・佳作：10点

ポスターの部 …… 優秀：10点・佳作：10点

4 街頭募金

地域福祉推進協議会等の地域関係団体やボランティアの協力により、区内各所で街頭募金を実施しました。

【回数】 2回

【実績額】 54,249円



名鉄小幡駅での街頭募金活動